

ふるさとの文化財散歩

今月と来月は羽根子の曹洞宗大儀山長生寺を訪ねます。

長生寺は、今から四八〇年前の永正八年(一五二二)に小山田出羽守信有が開基となり、末寺二十九を有する歴代の都留郡領主の菩提寺として保護されてきた県内有数の名刹で、代々の領主から寄進あるいは拝領した品々が寺宝として大切に保存されています。

小山田越中守信有画像

市指定有形文化財第二十号

絹本着色掛け図で、画師及び作成された年代は不明ですが、当時の画法を伝える秀逸な作品で、小山田氏に関するものはこれ一幅で貴重なものです。

また、軸の裏には「文政十丁亥仲夏再補装・長生寺什物・水府臣裔孫小山田勝益謹題識」とあり、



再補装されたことが判明しています。

寸法 縦 七四センチメートル
横 四七・五センチメートル

※文政十丁亥：一八二七年
※水府：現在の水戸市

小山田信茂寺領書立文書

市指定有形文化財第二十一号

この文書は小山田出羽守信有の孫にあたる出羽守信茂が、元龜四年(一五七三)七月三日に菩提寺の長生寺にあてた文書で、歴代寄進による寺領の全部を書きあげて、それぞれ安堵再確認したものです。寺領の大部分は都留市内の地名がありますが、この他、花崎、幡倉の地名もあり、小山田氏の支配と長生寺の規模の大きさがわかるうえ、小山田氏歴代の法名が列記されていて貴重な資料です。

寸法 縦 三四センチメートル
横 九八・五センチメートル
※寺領：寺院の所有する領地
※花崎、幡倉：共に現在の大月市花咲、畑倉

長安寺本堂が 県指定文化財に

平成二年十二月二十日付けで長安寺本堂が、県指定有形文化財に指定されました。これで、市内の県指定文化財の建物は旧尾県学校々舎と並んで二棟となりました。



文化協会部門別紹介

都留郵便趣会

世界最初の郵便切手が発行されたのは、今から約一五〇年前の英国のペニーブラックという切手です。

日本では、英国より三十一年おくられて明治四年に竜切手と呼ばれる最初の切手が発行されました。

都留郵便趣会が発足したのは昭和三十八年六月で、翌年都留市文化協会に加入し、その後、市文化祭に連続参加していますので、協会に加入している団体の中では古参の団体ではないかと思えます。

切手蒐集は、「趣味の王者」とも「王者の趣味」とも言われているとおり、市内でも大人から子供までこっそりと集め楽しんでいの方が多いと思います。

切手を集めていると世界の国々が非常に身近に感じられます。今、話題のイラクもイスラエルも私達のアルバムでは良く見ることの出来る切手です。

この様に、小さな切手をおして世界の文化、風俗、歴史、芸術を知る

ことができ、また、仲間作りをすることもできます。

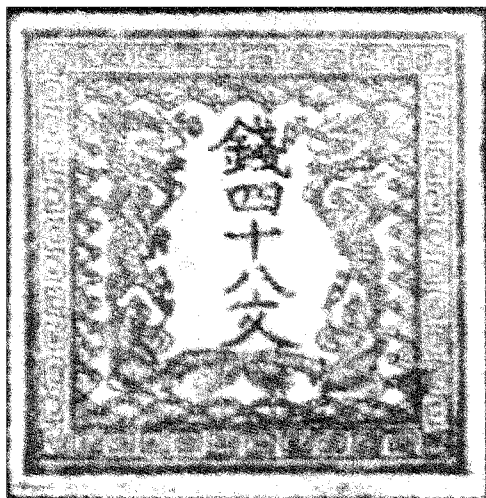
都留郵便趣会では、会員に次の様な便宜を図り、切手蒐集の相談、協力に応じております。

- 1 新発行日本切手の一括購入。
- 2 郵政省発行の初日日本切手シートへの配付。
- 3 日本初日カバーの一括購入
- 4 新発行郵便物(絵入りハガキ、ふるさとハガキ等)の共同購入
- 5 郵便物・切手の分譲、交換他

今年の文化祭には、リニア関係の切手を展示しようと考えています。大勢の市民に見ただけだいて、切手に関心を持っていただければと思っています。

事務局 渡辺 一郎

☎(43)5407



日本で最初に発行された竜文切手